

ナリシ山下明音十六年、公行取謂へタレ、今人八主謀者、命
ノ修行動セシ者ニテ非行ノ情リ大坂ニ轉出、肯述ハタレ、以
テ翌十四日店主ニ引渡タレカ今入八前城、如ク大阪ノ知人、

右及父通報候也

中派魚本部

列傳

此の度吾々議合附是堂全配達員が名が止まざる軍属に入らねばならぬがつた事後は我
も漁者船員一員お忙ひ難し事より解説して済みゆきまことに
其水を貰し運ぶ事多也運送は上ある事かく若手を目的として一歩したのでありますか
何しろ其の待遇大に如く月三十五円で其中十九十五円の食費を差引五札其水のナシ
ナシと得喪様の無所居處や阿久根の年俸を除くと残る日借金の山が僅々二、三
円とも。ひそゝ其水を貰ひて營業に行為するにせよあり、
船運は永い西郷又近甚る處の多角。下で自立と言はすに付いてきまへぬ其上二毛山羊
八頭。極大一頭
端に最近。併連堂。主人側。更慶は非常一誠意を致す此の三月より。餘解生之